学校番号	T3015

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	(学)生活とパソコン	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

パソコンが私たちの生活にどれだけ役立っているかを学び、端末を使いこなせるようにする。

2　学習の到達目標

パソコンの基本技能を習得し、効率的にデータを集計・整理し、他人へわかりやすく共有、表現が行える。また、パソコンなどの端末を用いて効率的に課題を解決し、情報社会へ適応しようとする姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	パソコンの基本操作を学び、Word,Excel,Power Point等のソフトウェアを活用できるようになる。	文章やデータ集計をする際、どうすれば見やすくなるか、効率的に集計することができるか考える。また、その結果を基に物事を判断し、ほかの生徒に共有できるようにする。	これらの知識を基に、パソコン等を使って効率的に情報処理し、自ら課題を解決する姿勢を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	パソコン操作	パソコンの基本操作	a:タイピングができるようになる。 b:データを見やすくする工夫を考える。 c:基本操作をデータ入力等に活用しようとする。	課題 考査	課題 考査	課題 提出物
	Wordの基礎演習	ｗｏｒｄの基本操作・表の作成	a:早く、正確に文章作成する技能を身に付ける。 b:文章や表を見やすくする工夫を考える。 c:書式設定等の技能を文章作成に活かし、積極的に活用しようとする。	課題 考査	課題 考査	課題 提出物
後期	Excelの基礎演習	カレンダー等作成 関数の活用	a:関数を活用して効率的にデータ入力する。 b:関数の入れ方を考え、課題に取り組む。 c:関数を取り入れながらデータ集計や整理に活用しようとする。	課題 考査	課題 考査	課題 提出物
	インターネットの基礎知識と活用方法	インターネットのしくみを理解させ、情報収集させる。	a:効率的かつ迅速に情報を集め、読み取ることができる。 b:情報収集して、比較・検討することができる。 c:収集した情報を共有することができる。	課題 考査	課題 考査	課題 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度